

| | | | | |
|-----------------------------|--|---------|--|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 教育学概論 (初等・小) (2単位) | | 3. 科目番号 | EDTS1101 |
| 2. 授業担当教員 | 後藤 泰博 | | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習 | 5. 開講学期 | 春期 | |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | | | | |
| 7. 講義概要 | <p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に小学校教諭になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p> | | | |
| 8. 学習目標 | <p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 3. ディスカッションや発表を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ること。 | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | <p>教科書を事前に熟読し、学習内容の予習をしておく。授業内容や感想について適宜、簡単なレポートの提出を求める場合がある。</p> | | | |
| 10. 教科書・参考書・ 教材 | <p>【教科書】 『教育原理(よくわかる! 教職エクササイズ)』 島田和幸 (編集), 高宮正貴 (編集) ミネルヴァ書房、2018年。</p> <p>【参考書】 『教育学をつかむ [改訂版]』 木村 元/小玉 重夫/船橋 一男 有斐閣、2019年。 『深い学び』 田村学 東洋館出版、2018年。 『小学習指導要領解説』 文部科学省、2017年。</p> | | | |
| 11. 成績評価の規準と 評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) <p>以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30% | | | |
| 12. 受講生への メッセージ | <p>一方通行の授業ではなく、受講生自身も発表する機会があるので積極的な参加を望む。この講義を通して教育学の基礎を学ぶと同時に、教育への興味・関心を高め、自分なりの教育観を持つことができるようになってほしい。</p> | | | |
| 13. オフィスアワー | 初回講義で告知する。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第1回 | 第1講 オリエンテーション 子どもの発達と教育の目的 1 共同体社会の教育 2 近代以降の教育 3 デュルケムによる「方法的社会化」としての教育 | 事前学習 | これまで受けてきた「教育」の意味を考える。教科書を概観する。 | |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 | |
| 第2回 | 第2講 教育とは何か 1 人間とは何か 2 人間に固有の営みとしての教育 3 教育、形成、教化 | 事前学習 | 教科書第2講を読み、教育の定義と意義・目的に関する予備知識を持つ。 | |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 | |
| 第3回 | 第3講 教育の歴史1 学校の歴史 1 学校の歴史 2 公教育の思想 | 事前学習 | 教科書第3章を読み、学校の歴史について理解する。 | |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 | |
| 第4回 | 第4講 教育の歴史2 海外の教育史 (古代ギリシアの教育思想) 1 古代ギリシアにおける教育文化 2 古代ギリシアの哲学者たち 3 ソフィスト的弁論術と教養観の拡大 | 事前学習 | 教科書第4講を読み、古代ギリシアの教育思想について予備知識を持つ。 | |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 | |

| | | | |
|------|--|------|--|
| 第5回 | 第5講 教育の歴史3 海外の教育史（近代の教育思想） 1 コメニウス 2 ロック 3 ルソー 4 カント 5 なぜ教育思想を学ぶのか | 事前学習 | 教科書第5講を読み、近代の教育思想について関心を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第6回 | 第6講 教育の歴史4 海外の教育史（近代教育学の成立～新教育運動） 1 近代教育学の夜明け-実践のための理論／理論のための実践 2 子どもたちが育つ場所という構想と実践 3 学問としての教育学の成立 4 教育実践を再構成するために | 事前学習 | 教科書第6講を読み、近代の教育史について関心を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第7回 | 第7講 教育の歴史5 日本の教育史 1 近世の文字文化と民衆 2 近代学校の出発 3 公教育の普及 4 ヘルバルト学派への批判と「新教育」の展開 5 戦中戦後の学校教育と本講のまとめ | 事前学習 | 教科書第7講を読み、日本の教育史について予備知識を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第8回 | 第8講 「教える」という仕事1 教育課程と授業の計画 1 教育課程とカリキュラム 2 カリキュラムの類型 3 学習指導要領とその変遷 4 教育関係法令と学習指導要領の「基準性」 5 授業計画 | 事前学習 | 教科書第8講を読み、教育課程について予備知識を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第9回 | 第9講 「教える」という仕事2 教育課程と授業の実践 1 授業を計画する 2 授業を実践する 3 授業を振り返る-よりよい授業への改善 | 事前学習 | 教科書第9講を読み、授業計画について考える。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第10回 | 第10講 「教える」という仕事3 教育評価 1 教育評価を考える前に 2 教育評価の目的 3 教育評価の時期 4 評価の主体 5 評価の方法 6 これからの教育評価 7 カリキュラム・マネジメント 8 教育評価の課題 | 事前学習 | 教科書第10講を読み、教育評価について予備知識を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第11回 | 第11講 「教える」という仕事4 学校・学級の経営 1 学校経営 2 学級経営 | 事前学習 | 教科書第11講を読み、学校・学級経営について考える。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第12回 | 第12講 学び続ける教師となるために 1 学び続ける教師とは 2 教師が学び続ける資質・能力を確立していく過程について 3 伸び続ける志のある教師に | 事前学習 | 教科書第12講を読み、学び続ける教師像について考える。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第13回 | 第13講 社会教育と生涯学習 1 社会教育 2 生涯学習 3 社会教育、生涯学習の取り組みと課題 4 社会教育の施設と職員 5 公民館 6 学校教育との連携、協働に向けて | 事前学習 | 教科書第13講を読み、生涯学習について予備知識を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第14回 | 第14講 地域社会と学校 1 地域と学校の連携 2 地域と学校の連携のための制度 3 地方創生と学校 | 事前学習 | 教科書第14講を読み、地域と学校の連携について考える。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |
| 第15回 | 第15講 現代日本の教育問題 1 いじめ・不登校問題と子どもの貧困問題 2 国際化・情報化とこれからの教育 | 事前学習 | 教科書第15講を読み、日本の教育問題について関心を持つ。 |
| | | 事後学習 | 「復習問題にチャレンジ」を行い、ノートテイキングページに理解したことをまとめる。 |